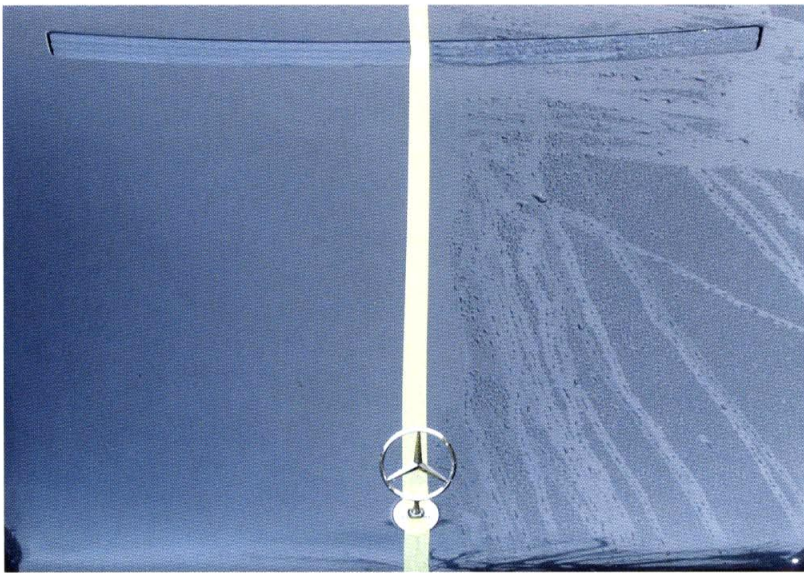


# 新製品モニターレポート

高性能ボディコーティング剤

## ソフト99 TRIZプレミアム



▲ソフト99の“TRIZプレミアム”は美しい光沢感が得られるケイ素系コーティング剤。写真は左側にコーティングを施している。施工後は塗装面に水玉ができにくくなり雨ジミなどを防止する。



▲ボンネット片面につき2〜3回程度トリガーを引いて液剤を噴霧



▲コーティング剤を塗布した面から順に付属のTRIZEXプレミアムクロスで拭き上げる

年 未年始の休暇を利用して、DIYでマイカーにコーティングを施してみよう。水が冷たい季節に洗車なんて……と思うかもしれない。だが、ボディパネルが高温にならない冬季は、ボディケアにうってつけである。

### 簡単便利な本格派

DIY作業用コーティング剤としてお勧めのアイテムは、ソフト99が開発したTRIZトライズプレミアム（1本100ml入り、オープン価格）である。簡単に失敗のない作業性と、美麗なコーティング効果が実感できると評判の製品だ。一度施工すれば、コーティング効果は約3カ月持続する。

### 新車のような光沢

冬は融雪剤や、雪に含まれる汚れが気になるシーズンだ。ボディに付着した汚れを簡単に洗い流せるようにするには、ボディコーティング剤の施工がお勧めだ。

TRIZプレミアムの最大の特徴は、優れた作業効率と、美しい光沢感にある。メーカーが「高級クリスタルの卓越した輝き」を指して開発したと説明しているように、TRIZプレミアムの施工後は最高水準の光沢が得られる。洗車後は濡れたままのボディにコーティング剤をスプレーし、付属の専用クロス（TRIZEXプレミアムクロス）で拭き上げるだけ。従来のコーティング剤からは想像できないほど簡単な作業で、新車のような輝きが復活する。

### 作業は洗車から開始

今回、2000年式メルセデス・ベンツEクラス・ワゴンにTRIZプレミアムを施工した。取材車のボディカラーはブラック。新車時から10年が経過し、カーポート（簡易屋根付き）で保管しているクルマだ。塗装状態は「定期的にコーティング作業が施されていたが、10年間使用されたモデルとしては一般的なレベル」で、そろそろコーティング効果が薄れる時期を迎えていた。

TRIZプレミアムの効果を最大限に引き出すためには、洗車段階でしっかりと汚れを落とす作業が重要だ。

洗車の基本は、上から下に向かって作業することだが、ボディを洗う前にはまずタイヤ&ホイールの汚れを落とす。ホイールに

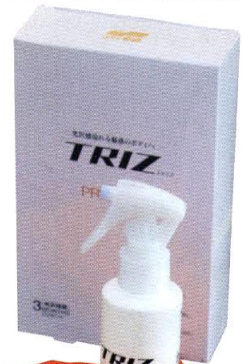


▲鉄粉キラー JET FOAMは鉄粉汚れを化学反応で分解。1本280ml入り



▲洗車作業は足回りから着手。タイヤ&ホイール→ボディ上面→ボディ側面の手順で

▲TRIZプレミアムはソフト99が培ってきたノウハウから生まれた高性能コーティング剤。魅力は光沢感と良好な作業性。1回の施工で効果は約3カ月持続。重ね塗りでもコーティング被膜の強化が可能



\*紹介した製品はすべてオープン価格

写真●小久保昭彦

### 作業時間は約30分

この後、TRIZプレミアムを洗車後の濡れた状態のボディに噴霧する。ボンネットの片側に2〜3ショットをスプレーし、TRIZEXプレミアムクロス

で塗り広げながら拭き上げていく。拭き上げ作業はいたって軽快。力を入れて拭き上げたりする必要はない。ボディが濡れた状態での作業だから、コーティング剤がムラになる心配は無い。

TRIZプレミアムの塗布&拭き上げにかかる時間は、大型ワゴンでも30分程度で完了する。コーティング剤を塗



▲TRIZプレミアムでコーティングしたクルマには専用のTRIZEXコーティングケアシャンプー（500ml）とTRIZEXプレミアムスポンジの利用がお勧め